

多自然川づくり

環境保全



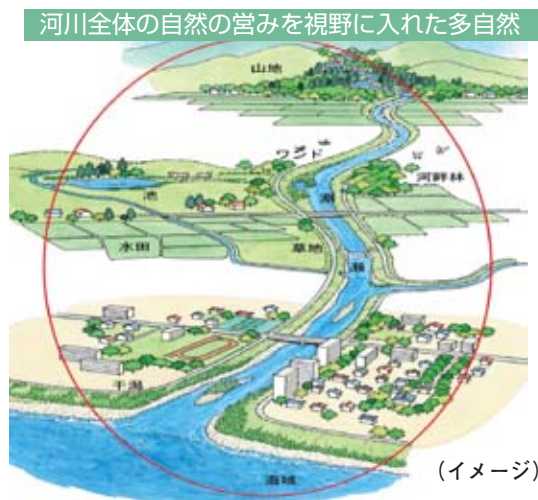
① 施策概要

「多自然川づくり」とは、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理（調査、計画、設計、施工、維持管理等）を行うものであり、すべての川づくりの基本です。

② 事例

【個別箇所の多自然から河川全体の自然の営みを視野に入れた多自然へ】

河川全体の自然環境を理解し、良好な環境をどのように保全し、悪化した環境をどのように再生していくのか等、全体として目指すべき一貫した目標のもと、川づくりを行う必要があります。



【河川管理全般を視野に入れた多自然川づくりへ】

調査、計画、設計、施工、維持管理等の河川管理のすべての段階において、河川に関するすべての人々が協働して多自然川づくりに取り組んでいく必要があります。

設計・施工
■貫川
福岡県北九州市



維持管理
■淀川 大阪府

